

ワークショップを振り返って

- ・ 稲沢市でワークショップが開催されていることを知り、興味を持って参加しましたが、面白かった
- ・ 稲沢市のことを改めて深く考える機会になり、ワークショップで様々な世代と交流できて楽しかった
- ・ 社会を知るため参加しました。多世代の意見を聞き、稲沢について深く考えられて楽しかった
- ・ 稲沢は非常に魅力のある町であるが市民がその魅力に気づいていないのではないかと考えている。ワークショップのような場があることはとてもよい
- ・ 稲沢市のことをあまり知らず、知識を得るため参加しましたが、カフェや史跡など新たな発見がありました
- ・ ワークショップでは皆が積極的に発言をしていて話しやすかったです
- ・ 全ての回に参加したが、皆さんの言葉や熱量は非常に鮮明に覚えている。稲沢を良くしたいという気持ちの表れであり、課題を自分ごととして捉えることができ、楽しく、そして嬉しく思った
- ・ 皆さんの協力を得て意見を出すこともでき、勉強になりました。また参加したいです
- ・ 稲沢市は派手ではないが味わい深い町だと思っています。今後もその良さをPRしてほしいです
- ・ 駅周辺が変わらず飲食店が少なく寂しいと感じました。駅前の活性化を願っています
- ・ 祖父江町では発展を感じず、人口減少が課題です。ぜひ祖父江町の魅力を知ってほしいです
- ・ ウェルビーイングという言葉を知り、今後も学んでいきたいと思いました
- ・ まちづくりにはハードやソフトだけでなく、ウェルビーイングを重視したヒューマンウェア改革が必要だと感じました



Vol
03

稲沢市みらいまちづくりラボ News Letter

開催概要

次期稲沢市総合計画の策定に向けて、市民の立場から将来の稲沢市のまちづくりのあり方について考えてもらうため、稲沢市みらいまちづくりラボを開催しました。最終回となる第3回ワークショップでは、2040年ごろの稲沢市を見通し、取り入れたいキーワードを挙げ、意見交換をしながら「まちづくりのキャッチコピー」を考えました。

■ 開催場所 :2026年3月20日(金・祝)9:30~12:00

■ 会場 : 勤労福祉会館 第2・3研修室

■ 参加人数 :14人

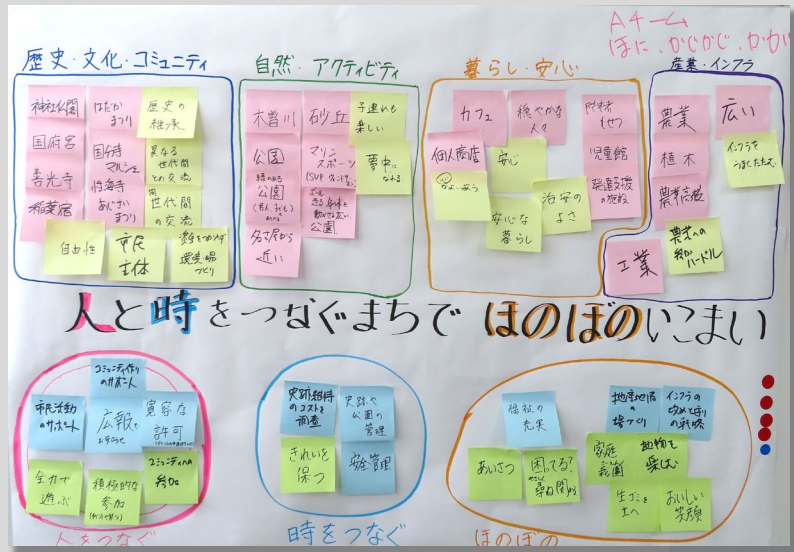


当日のプログラム

テーマ まちづくりのキャッチコピーを考える

- ・ 開会・あいさつ
- ・ ガ イ ダ ン ス :第2回ワークショップで実施したことの振り返りと、本日の目標の説明をしました。
- ・ アイスブレイク :参加者の共通点を話し、ワークショップにどんな人がいるか確認しました。
- ・ 個 人 ワ ー ク :稲沢市のキャッチコピーに取り入れたいキーワードを考えました。
- ・ グループ決め :将来のまちづくりに対して考え方の近い参加者同士でグループを組みました。
- ・ グループワーク :自己紹介をし、グループにどんな人がいるか確認しました。魅力的な暮らしがどのようなになっていくと良いかを意見交換しました。
- ・ 発 表 ・ 投 票 :グループワークの内容を発表し、共感できる稲沢市のキャッチコピーを2つ投票しました。
- ・ 閉 会

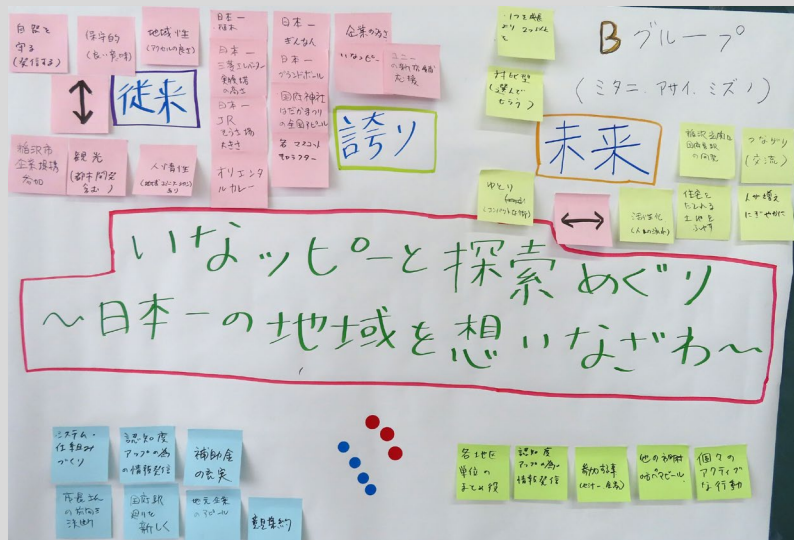
人と時をつなぐまちではのぼのいこまい



- ・稲沢らしい歴史として、神社仏閣の存在や、はだか祭りなどのイベントがある
- ・木曽川や自然豊かな公園があり、カフェなどの人とつながることができる場所がある
- ・市にはもう少し寛容さが必要
- ・歴史的な場所の維持管理が重要
- ・場所をきれいに保つためのゴミ拾いなどの行動を行っていききたい
- ・挨拶をする、みんなで困っている人を助けるなど、市民目線で取り組めることは積極的に行っていききたい



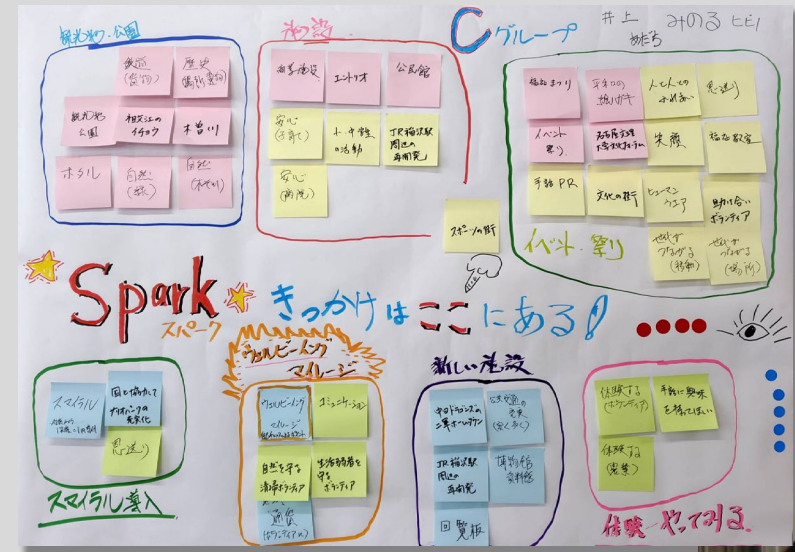
いなっピーと探索巡り～日本一の地域を想いなざわ～



- ・日本一の地域を目指すという想いを込めている
- ・自然や都市開発を含む観光など、日本一の稲沢の良さを探索しながら巡ってほしい
- ・次世代には選択肢を提示し、稲沢を選んでもらいたい
- ・市は認知度アップや積極的なアピール、補助金の充実に取組んでほしい
- ・市民の積極的な参加も重要
- ・市民がポジティブかつアクティブに参加しなければ、まちは変わらない



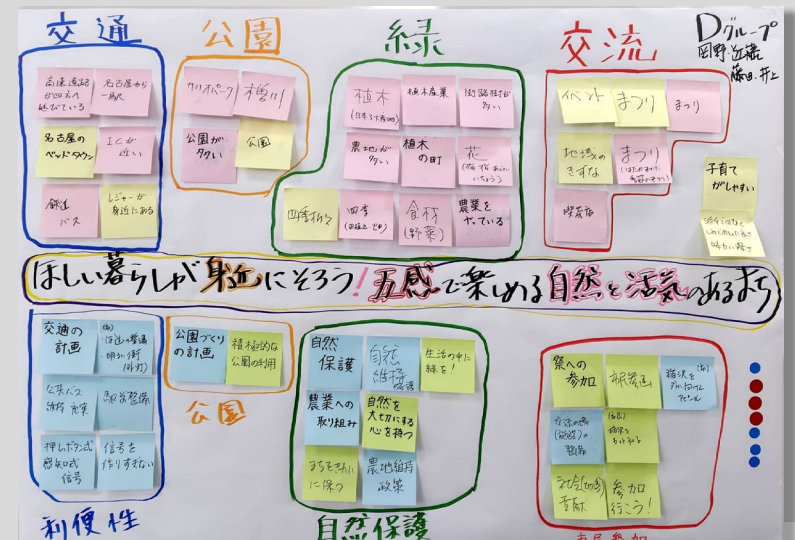
Sparkきっかけはここにある！



- ・Sparkには光るという意味と様々なきらめきやきっかけという意味を込めた
- ・物理的なきっかけやソフトウェア的なきっかけも含め、すべてを包括する大枠のきっかけも表現している
- ・現存している様々な施設や観光地を今後さらに活用し、まちづくりのきっかけにしていきたい
- ・スマイラルやウェルビーイングマイレージを行政には導入してほしい
- ・「新しい施設」の開発と、「体験」の機会を増やすことも重要



ほしい暮らしが身近にそろう！五感で楽しめる自然と活気のあるまち



- ・稲沢はその欲しい暮らしが手に入る便利なまちである
- ・五感で楽しめる自然と活気が稲沢にはあり、大切にしていきたいと思う
- ・利点が身近に揃っていることが、稲沢の特徴であるという意見が出た
- ・市には交通の利便性の確保や、公園・緑の整備を継続してほしい
- ・稲沢市をより外部にアピールしてほしい
- ・普段の生活の中で自然を大切にし、まちをきれいにする心を持つことも重要

